

事業所名 放課後等デイサービス ココアート

支援プログラム（児童発達支援）

作成日 2024 年 4 月 1 日

法人（事業所）理念		保護者、保育園、地域社会と密に連携して、子ども一人ひとりの「可能性を広げ」「やりたいこと」を見つけ出し「自分の夢」へとつないでいける療育を目指します。											
支援方針		○遊びながら学ぶ支援・・日々モールステップを意識しながらお子様の遊びの中から学んでいただけるように支援します。 ○感覚統合療法・・感覚統合療法を取り入れた活動を通し日常の暮らしで感覚の強弱を調節したり、感覚を受け入れる量を調節できるように支援します。 ○季節を大切にした療育支援・・天気や温度、風や雨、四季の行事を大切にしながら周囲の環境に興味関心を向けられるようにして、時の流れに意識が向けられるように支援します。 ○個別療育・・一人ひとりの課題を本人、保護者や関係機関と話し合いながら、一貫した方向性で本人に負担のない個別療育をします。											
営業時間		月から金（平日）	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土、祝日 長期休み	9	時	0	分から	18	時	0	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・日常生活の中で、大人や友達とのコミュニケーション力が育っていくように支援をします。事業所の生活の中から日々本人が抱えている課題に向き合い、持ち物管理、道具や玩具の片付けなど、環境の整備を主体的に行えるように支援します。お子さんの理解しやすい方法を模索しながら タイマーを使って時間の感覚を身に着けたり、絵や文字のスケジュール表などを利用して視覚的に分かりやすく伝えるなど工夫して伝えます。											
	運動・感覚	・着席して活動する静の時間と集団でゲームあそびを楽しむ動の時間を提供します。座学を通して姿勢保持を心がけたり、微細運動のような手先の器用さを育てる活動をします。ワークブックなどを活用して継続的に座学と手先の器用さを育てていきます。動の活動では、体のどの部分を動かしているかなど、関節が円滑に動くようにリトミックやダンス、トンネルや平均台を使用して粗大運動から思い通りに自分の体を動かせるように支援します。											
	認知・行動	・集団活動や自由遊びの中から、その場に合った状況判断や適切な行動ができるように支援します。友達が使っている玩具なのか、空いている玩具なのかを見定めることができるようになるなど他者の使っているものを取ってしまったりせずすみずみに使えます。また使用中の時は待つことが出来るようになります。周囲の環境がどうなのかを判断できるように支援していきます。											
	言語 コミュニケーション	・挨拶や「かして」「ありがとう」「ごめんなさい」など、言葉を発しながらコミュニケーション力を養っていくことを目指します。話せなければジェスチャーから始めるなど、まず相手に自分からアプローチする意欲を育てます。一つの遊びを共有、共感しながら他者と関わるのが楽しい、嬉しいという感覚を育て、コミュニケーションの基礎を養います。最終的には、承認欲求から奉仕欲へと変わっていく事で円滑な対人関係を構築していけるように支援します。											
	人間関係 社会性	・自分自身の気持ちのコントロールは、自己抑制に影響されます。社会性において 自分の主張が通らない時でも、怒ったり、落ち込んだりせず、相手が拒否しているのだと思い込まず自分の気持ちに折り合いをつけながらやり過ごしていけるようになるなど、世の中の曖昧さに慣れていけるように支援します。自分の気持ちを自分自身が理解できるように 支援者が本人としっかり寄り添って向き合っていきます。											
家族支援		・見学の機会を設け保護者や家族の方の思いをしっかり受け止め それに沿ったご提案や支援が出来るようになります。送迎時にも、日々の様子を伝え安心して預けて頂けるようになります。					移行支援		・必要に応じて、保育園のお子さんの様子を見学したり、担任の先生とお子さんの様子や支援方法について、情報共有していきます。				
地域支援・地域連携		・お子さんの通っている他施設や相談事業所など各関係機関との連携もしっかりと行っていきます。					職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加				
主な行事等		・避難訓練（地震、火災、水害、年2回以上）・季節の行事 ・誕生日会											